

令和4年度 森林環境譲与税の使途内訳

事業名	事業総額（千円）			事業内容	取組みの成果
	(A)+(B)	(A)うち令和4年度の 森林環境譲与税（千円）	(B)うち他の財源（千円）		
木製複合遊具更新工事（わんぱく公園）	18,480	2,490	15,990	市立わんぱく公園に存する木製複合遊具の老朽化に伴い、既存木製複合遊具の撤去及び児童用木製複合遊具1基を新設した。なお、使用木材はすべて多摩産材を使用した。	令和4年度も前年度に引き続き、老朽化が顕著になった市立公園の木製既存遊具を撤去し、幼児用の木製複合遊具及び木材を粹材に使用した砂場を設置することで、子どもたちの遊び場の充実を図った。
木製複合遊具更新工事（中央高架下公園）	148,955	10,940	138,015	市立中央高架下公園の改修に伴い、木製複合遊具の更新を行った。使用木材すべてに多摩産材を使用した。	令和4年度も前年度に引き続き、老朽化が顕著になった市立公園の木製既存遊具を撤去し、幼児用・児童用の木製複合遊具を設置することで、子どもたちの遊び場の充実を図った。
第4期二俣尾・武蔵野市民の森に関する協定書に基づく啓発事業	2,420	2,420	0	森林のもつ公益的機能をより一層活かすため、適正な森林整備をすると共に、自然との触れ合う機会の少ない都市住民が自然体験の出来る場として活用した。令和3年4月1日から開始した第4期協定では、協定区域を拡大し、withコロナ時代に対応する事業として取り組んだ。	「二俣尾・武蔵野市民の森」（9.86ha）の適切な維持管理を実施するとともに、「森の市民講座」を5回開催し、森の散策と森の素材を活用したクラフトを市民に体験する機会を提供した。